

青山学院大学附置外国語ラボラトリー 主催 公開セミナー

「外国語教育とアカデミック・スキルズ ——思考力を鍛え、マナーを学ぶ」

(2017年9月30日、青山学院大学青山キャンパス)

アカデミック・スキルズとは、大学の世界で勉強・研究するために必要な諸技能を指します。その習得については、批判的思考力の育成とともに指導の充実が求められていますが、全国的に試行錯誤が続いているようです。そこで、外国語教育がこの状況にどう関与し、その成果を大学教育全般に拡張できるかを、今回のセミナーでは考えます。

斬新な初年次英語教育の実践報告、日本では知られていない「フランス流小論文」の紹介など、貴重な発表が並びます。また、論文・レポートでの引用・参照方法の指導や剽窃防止教育といった、アカデミック・ライティングに関する提言も共有できる機会です。大学の教職員はもちろん、小中高校の先生方や教育関係者各位、学生・院生の参加も歓迎します。

——宮澤 淳一（所長・本企画コーディネーター）

発表1 引用しなければ注はいらない? ——サイテーション(citation)の発想と流儀を理解する
宮澤 淳一（外国語ラボラトリー所長 / 青山学院大学総合文化政策学部教授）

発表2 Strategies for plagiarism avoidance (剽窃を防ぐための方策について) ※英語による発表
ジョゼフ・V・ディアス（青山学院大学文学部英米文学科教授）

発表3 「学びのバトン」を受け継ぐ言葉——理系作文教育からの事例
館野 佐保（青山学院大学非常勤講師）

発表4 外国語習得と学術的作法習得のはざままで
——日吉キャンパス「アカデミック・スキルズ」におけるライティング指導
井口 篤（慶應義塾大学文学部准教授）

発表5 What is a French "dissertation"? (フランス流小論文とは何か) ※英語による発表
マリオン・ド・ランクザン（青山学院大学文学部フランス文学科准教授）
ラウル・ドゥルマジュール（青山学院大学文学部フランス文学科非常勤講師）

発表6 結局、英作文の授業で何を教えるべきか
狩野 良規（青山学院大学国際政治経済学部教授）

日時: 2017年9月30日 **土** 13:30~16:45
(受付時間 13:00~)

場所: 青山学院大学 青山キャンパス

15号館 5階 特設会場

(ガウチャー・メモリアル・ホール)

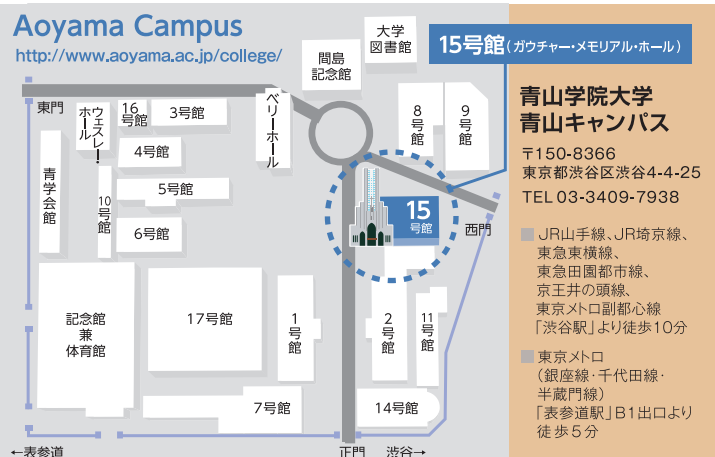
対象: 小・中・高・大学教員、学生・院生、教育関係者

参加方法: 事前申し込み制(参加費無料・下記のとおり)

主催: 青山学院大学附置外国語ラボラトリー

情報の更新は
ウェブサイトでお知らせ <http://www.agufl.aoyama.ac.jp/>

①当日の公開セミナーの様子は撮影し、広報や開催報告などに掲載することがあります。ご了承の上、ご参加ください。②取得した個人情報につきまして、本公開セミナーに関するご連絡、及び今後開催予定の公開セミナーのご案内に利用させていただきます。それ以外の目的で利用することはありません。③学内での動画撮影、静止画撮影はご遠慮ください。



青山学院大学
青山キャンパス
〒150-8366
東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL 03-3409-7938

■ JR山手線、JR埼京線、
 東急東横線、
 東急田園都市線、
 京王井の頭線、
 東京メトロ副都心線
 「渋谷駅」より徒歩10分
 ■ 東京メトロ
 (銀座線・千代田線・
 半蔵門線)
 「表参道駅」B1出口より
 徒歩5分

申込方法
(参加費無料)

右記事項を明記のうえ、
e-mail にて9月22日(金)
までにお申し込みください。

申込先:
青山学院大学附置 外国語ラボラトリー
e-mail: flweb@aoyamagakuin.jp
(エフ エル エル ダブルユー イー ビー @)

①メールの件名: 公開セミナー
②氏名(フリガナも) ③所属
④電話番号 ⑤e-mail アドレス

引用しなければ注はいらない? —サイテーション(citation)の発想と流儀を理解する

発表1 宮澤 淳一 (Junichi MIYAZAWA)

青山学院大学総合文化政策学部教授・外国語ラボラトリー所長。博士(学術、東京大学)。文学研究・音楽メディア論。学部ではUNHCR難民映画祭等に字幕を提供する実習授業「映像翻訳ラボ」にも携わる。共訳書のウィンジェル『改訂新版 音楽の文章術』(春秋社、2014年)の付録に、日本最詳の文献表記法マニュアルを作成。

Strategies for plagiarism avoidance (剽窃を防ぐための方策について)

発表2 ジョゼフ・V・ディアス (Joseph V. DIAS)

青山学院大学文学部英米文学科教授。カリフォルニア州サンノゼ出身。カリフォルニア大学バークレー校で心理学を専攻後、コロムビア大学大学院修士課程(TESOL)修了。2003年に青山学院大学に着任して以来、IE(Integrated English)プログラムのコーディネーターのひとりとして英語教育に携わる。

「学びのバトン」を受け継ぐ言葉——理系作文教育からの事例

発表3 館野 佐保 (Saho TATENO)

青山学院大学非常勤講師。東北大学大学院農学研究科で生命科学修士号取得後、渡米。イースタンミシガン大学にてバイリンガル研究科や英文学科で作文を学び、作文コミュニケーション論の修士号取得。帰国後は出版社ワイリー・ジャパンで学術出版に携わった後、フリーランスで雑誌連載や児童書、英文記事などを執筆。

外国語習得と学術的作法習得のはざままで——日吉キャンパス「アカデミック・スキルズ」におけるライティング指導

発表4 井口 篤 (Atsushi IGUCHI)

慶應義塾大学文学部准教授。専門は中世英文学。博士(ケンブリッジ大学、2009年)。2015年まで放送大学准教授。著書に『中世・ルネサンス文学』(共著、放送大学教育振興会、2014年)など。講義 *Walking with Writers: A Literary Journey around England* (2016年)は、放送大学で放映中。

What is a French "dissertation"? (フランス流小論文とは何か)

発表5 マリオン・ド・ランクザン (Marion de LENCQUESAING)

青山学院大学文学部フランス文学科准教授。17世紀のフランス文学、とくに聖人伝など宗教的物語作品を研究する。この秋、パリ第三大学に博士論文を提出予定。大学教授資格(アグレガシオン)取得。

ラウル・ドゥルマジュール (Raoul DELEMAZURE)

青山学院大学文学部フランス文学科非常勤講師。20世紀のフランス文学を専門とし、ジョルジュ・ペレックに関する研究でパリ第七大学より博士号(文学)。大学教授資格(アグレガシオン)取得。

結局、英作文の授業で何を教えるべきか

発表6 狩野 良規 (Yoshiki KANO)

青山学院大学国際政治経済学部教授。専門はイギリス文学。国際政治経済学部で30数年間英語を教えている。主な著書に、『シェイクスピア・オン・スクリーン』(三修社、1996年)、『スクリーンの中に英国が見える』(国書刊行会、2005年)、『ヨーロッパを知る50の映画』正・続(国書刊行会、2014年)など。

プログラム

司会：大道 千穂 (青山学院大学経営学部教授)

	13:00 ~ 13:30	受付	
	13:30 ~ 13:35	開会にあたって	
発表1	13:35 ~ 13:55	引用しなければ注はいらない?	宮澤 淳一
発表2	13:55 ~ 14:15	Strategies for plagiarism avoidance	ジョゼフ・V・ディアス
発表3	14:15 ~ 14:35	「学びのバトン」を受け継ぐ言葉	館野 佐保
	14:35 ~ 14:55	発表者によるディスカッションと質疑応答(その1)	宮澤 淳一、ディアス、館野 佐保、大道 千穂
	14:55 ~ 15:15	休憩20分	
発表4	15:15 ~ 15:35	外国語習得と学術的作法習得のはざままで	井口 篤
発表5	15:35 ~ 15:55	What is a French "dissertation"?	マリオン・ド・ランクザン ラウル・ドゥルマジュール
発表6	15:55 ~ 16:15	結局、英作文の授業で何を教えるべきか	狩野 良規
	16:15 ~ 16:45	発表者によるディスカッションと質疑応答(その2)+まとめ	宮澤 淳一、ディアス、館野 佐保、井口 篤、 ド・ランクザン、ドゥルマジュール、大道 千穂